

平成29年度 第 3 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第15号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について</p>	<p>平成29年度垂水市一般会計補正予算（第1号）の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第16号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市教育支援委員会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 （任期）2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第17号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 （任期）1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第18号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 （任期）1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第19号 垂水市社会教育委員の委嘱について</p>	<p>垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 （任期）2年</p>	<p>特記事項なし</p>	

<p>報告第20号 垂水市視聴覚ライブラリー委員の委嘱について</p>	<p>垂水市視聴覚ライブラリー委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第21号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第22号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について</p>	<p>垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第15号 平成29年度垂水市立学校評議員の委嘱について</p>	<p>平成29年度垂水市立学校評議員を委嘱しようとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第16号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員を委嘱しようとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成29年度第 3 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成29年6月12日（月）</p> <p>午後1時55分</p> <p>↓</p> <p>午後3時44分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成29年度第3回教育委員会定例会を開会した。
議案第15号から第16号の2件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成29年度第2回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第 15 号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について

報告第 16 号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について

報告第 17 号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について

報告第 18 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

報告第 19 号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第 20 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について

報告第 21 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

報告第 22 号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第 15 号 平成 29 年度垂水市立学校評議員の委嘱について

議案第 16 号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

4 その他

垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について

5 委員並びに教育長報告及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	<p>報告第 15 号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第 1 号）案についての市長への意見申出について</p>
教育総務課長	<p>補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。</p>
田原委員	<p>公民館費は校区の公民館ではなく、自治公民館だが、自治公民館でもこうして使えることを初めて知ったので、お金がいくらくらいなのか、どれくらいまでなのか、限度があるのか教えてほしい。</p>
社会教育課長	<p>これは自治公民館に特化した補助金で、建設費の補助費だ。ただし、修繕費も可能だということで、約 4 割である。対象はあくまでも建物の修繕であり、横の方に側溝を新しく設けたいというものではなく、建物の修繕をするもの。上限については、後程報告する。</p>
野村委員	<p>これは、自治公民館の建物に限って、4 割くらい出ると。補助できるというように、他の地区も理解されているのか。</p>
社会教育課長	<p>去年は、6 件申請があつて、4 件採択された。採択されなかった 2 件は、建物ではないものだった。内容としては、雨戸を台風シーズンに備えて腐っているので取替とか、屋根が腐れているので修繕とかで行った。周知の方法としては、振興連の連絡協議会でも広報させていただいているし、1 年に 1 回は市報でも広報している。自治公民館長は大概振興会長が兼ねていらっしゃるのによく御存知である。市民課や土木課に相談に見えたら、社会教育課にご案内いただいている。</p>
学校教育課長	<p>報告第 16 号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
学校教育課長	<p>報告第 17 号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。</p>
野村委員	<p>委員の重複があるが、この関係性を教えてほしい。</p>
学校教育課長	<p>教育支援委員会の方は、就学判断をするのが主な業務で、その就学判断をするに当たって、いろいろな関係機関と連携をするのに、その関係機関の代表に来ていただいて、連携の仕方へのアドバイスをいただいている。連</p>

	<p>携協議会の方が、人数は少なく、教育支援委員会はそれぞれの立場でもっと具体的に知っていらっしゃる方が来てくださる。</p>
学校教育課長	<p>報告第 18 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
学校教育課長	<p>報告第 19 号 垂水市社会教育委員の委嘱について 垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p>報告第 20 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p>報告第 21 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p>報告第 22 号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。</p>
田原委員	<p>水之上地区は次の定例会か。</p>
社会教育課長	<p>はい。</p>
野村委員	<p>それで、定数の16名になるのか。</p>
社会教育課長	<p>はい。</p>

	<p>議案第 15 号 平成29年度垂水市立学校評議員の委嘱について (非公開)</p>
	<p>議案第 16 号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について (非公開)</p>
4 その他	
教育総務課長	<p>垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について 垂水市教育委員会外部評価委員会に提出する垂水市教育委員会の点検及び評価に関する資料について説明。</p>
野村委員	<p>学校教育課の 31 ページⅣ番目、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進、評価がここだけが 3 だが、その評価の原因になっているは、家庭学習の定着、家庭学習のすすめ、このあたりが完璧を目指してもなかなかうまくいかないということか。</p>
学校教育課長	<p>1 点は、今ご指摘いただいたように、家庭との連携という部分で言うときに、学習面でも連携していくが、なかなかそこがうまくいかない。たとえば、協議会等が出てくるような内容として、やはり、家庭との連携は重要だなというところが 1 点、それから、中央中は市内でもあいさつはいいが、小学校はもう少し良くなるのではないかという意見もあるので、その当たりを改善すべき点として評価をしている。</p>
野村委員	<p>それから、社会教育課の 32 ページ、Ⅳ番目の文化事業の中で、ここはお金がだいぶかかったのではと思うが、県の文化振興財団から助成金があると思うが、この助成金は、毎年でも貰えるのか。</p>
社会教育課長	<p>40 万円だが、本来なら県全体の文化振興なので、あちこちをしながら、バランスよくやらないといけないが、お陰様で、今年も貰えることになった。その理由としては、大変珍しいことなんだが、垂水市は大変な台風災害があつて、こういう文化事業を行って、皆さんを元気づけてあげていただくようにと、特別配慮で、2 年連続貰えることになった。</p>
野村委員	<p>それは有難いことだ。40 万円というのは助かるか。</p>
社会教育課長	<p>少しでも助かる。</p>
野村委員	<p>一流のものを見せるというのは、後生生きてくる。そこに意味がある。予算が続く限り実施してほしい。一流のものを子供達に触れさせてほしい。</p>
田原委員	<p>29 ページの評価表でいつも思うのが、「1 の 6, 会議及び会議録の公開・</p>

	<p>広報等は適切になされたか。」広報誌に掲載されたり、この評価についても市報に載っている。そういうかたちではやっており、この会議が公開になっているが、傍聴に来ていただけない。そういう意味で、100%ではないことがこういう評価になったのか。移動教育委員会もどうしたら来てもらえるのだろうか。「3の5の情報交換会」は、特別に会議をもつというのは、難しい部分もあるが、いろいろな会合で情報交換をすることはかなりあると最近思っている。特定の間を設けてというのは難しいが、前よりは良くなっているかなというところだ。</p>
教育総務課長	<p>まず、6の会議及び会議録の公開・広報等ですが、御存知のとおり、会議録については、毎月ホームページで公開を行っている。ただ、市報等で会議録を広報するとなると、紙面のページ数の都合で難しい。このところは、教育委員会の活動ということで、折を見て触れていきたいと考えている。傍聴については、今後も広報宣伝に努めていく。3番の委員の活動等、5の委員と市長・副市長・議会等との情報交換会等は適切になされたかについては、市長や企画政策課長との協議の中で、「委員の先生方は本市の児童生徒のために本当に一生懸命やっただけであり、特段のこの情報提供については、各会等、各機会等を通じて連携は取れているのではないかと認識をしている。改めての情報交換というのは、通常の中で、この教育委員会事務局三課の方で折を見て、委員の皆様に分かりやすいように、また、委員の皆様を通じて市民の方々にも理解を求められるよう、しっかりと対応を図ってほしい。」と指示をいただいております、現状では、そのように理解している。</p>
葛迫委員	<p>昨年開催された会はその時だけか。</p>
教育総務課長	<p>意見交換会等については、折を見ていきたい。教育委員の先生方には、しっかりとご理解いただき、ご活動いただいていると理解しているとのこと。各学校の行事等でいろいろとお話ができ、連携が取れているとのことだ。</p>
教育長	<p>私自身としては、市民の方々と教育委員の話をどう高めていくかということもリンクしていくと思う。8月には、垂水小学校で移動教育委員会を開催するが、一人でも多くの市民の方々に参加いただきながら、この定例教育委員会を公開というかたちで見ていただけて、是非感想等をお寄せいただけたらありがたい。いいPRの場になるのではないかと思います。</p> <p>他に意見がないようなので、垂水市教育委員会の事務の点検及び評価については承認された。</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告</p>

教育長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて」</p> <p>6月3日土曜日にあった瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて、今年で、19回目のコンクールであった。参加団体が、県外2、県内19の合計21団体という大変に盛大なコンクールになった。ステージに上がった人数だけでも、指揮者を含めて810名になった。どのグループも甲乙つけがたいくらいにレベルアップしていた。</p> <p>続く演奏の中で、忘れていた感性が心の中心からわき上がってくるような喜びの感動をおぼえた。しばらく時間を忘れて、日常を離れた至福の時間に浸ることができた。</p> <p>毎回思うことだが、改めて瀬戸口藤吉翁の存在とその出生の地である、わがふるさと垂水に感謝する次第であった。この素晴らしいイベントがこれからさらに充実発展するようにお祈りしたいと思う。</p> <p>2. 「学校訪問について」</p> <p>学校訪問が始まって、現在、水之上小、柗原小、垂水中央中の3校を訪問した。その総括は、全ての計画が終わってからと思っているが、現在での2日間の訪問での1番大きな感想は、まず一つは、水之上小をはじめ各学校すべてが、細かいところまで清掃が行き届いていた。非常に清潔感があって、気持ちのいい思いをした。そのような気持ちの反面、教育委員会の訪問があるということで、大変な気遣い、難儀をされているのではとも思われた。</p> <p>二つ目は、学校経営やそれぞれの教育課題についても、各学校懸命な取り組み努力をされている様子がしっかりと伝わってくる思いがした。</p> <p>全体的に大変良好な状況ではないかと思う。</p>
田原委員	<p>1. 「生涯学習オープニングフェアについて」</p> <p>5月21日生涯学習オープニングフェアは、多くの参加者を得て、講座が開講できることはうれしいことである。しかも毎年新しい講座が2～3つずつ増えているのもいいことだ。オープニングの新城の太鼓には、小学生も大人に混じって参加していた。水之上でもこのような講座開設の仕方もあるのかと参考になった。</p> <p>2. 「垂水小学校春季大運動会について」</p> <p>5月28日の垂水小学校春季大運動会は、公民館の行事と重なったので、午後から参加して最後まで見せてもらった。天気が良く、灰も降らずいいコンディションの中で、子供達はカー杯演技していた。</p> <p>午後は学級全員リレーや色別対抗縦リレーなど盛り上がる競技が多かったが、一番争いだけでなく、それぞれの着順争いも熾烈で、決勝点まで全力で競い合って、ゴールに雪崩れ込んで来るようなデッドヒートが見られて、会場が大いに盛り上がった。</p> <p>ただ、徒競走などでは、スタートが合わずフライングが多かった。合わせようという気持ちより、見込で飛び出して、他人より少しでも早くスタートしたいという気持ちであったのではないか。</p>

	<p>3. 「学校訪問について」</p> <p>学校訪問については、野村委員のおっしゃるとおりだ。本当に先生方が校長先生のリーダーシップの元まわって頑張っていらっしゃる。その中で、指導案を1週間くらい前に作るわけだが、それまでの間に中学校では試験もあるが、それに合わさないといけない、どこまでなのかと気にしながら作られたんだろうと、指導案にも誤字があったが、先生方もこんなこともあるんだなと思ったりして、先生方の苦勞もわかった。ありがとうございました。</p>
葛迫委員	<p>1. 「生涯学習オープニングフェアについて」</p> <p>5月16日に第1回生涯学習推進会議、5月21日に生涯学習オープニングフェアに参加したが、第1回生涯学習推進会議では、生涯学習推進事業の昨年度の実績と本年度の事業計画についての説明が事務局よりあった。</p> <p>生涯学習は市民の多くの方々が学んでいる。オープニングフェアでの成果発表だけではなく、生涯学習で培った知識や技術を生かしてほしいものと思う。そして、生涯学習を通じて、街の活性化に個人やグループが参加し、そして地方創生に繋がることがあったら、素晴らしい生涯学習になっていくのではと感じた。</p> <p>2. 「垂水小学校春季大運動会について」</p> <p>5月28日の垂水小学校春季大運動会は、晴天の中で子供達が一生懸命走っている姿に元気をもらった。かけっこや短距離走のフライングもあったが、子供達のスタートダッシュにかける意気込みがすごく伝わってくる大運動会だった。</p> <p>3. 「学校訪問（水之上小・柘原小）について」</p> <p>5月29日の水之上小、柘原小の学校訪問は、水之上小では、不得意とする科目を土曜授業で効果的にカバーし、学力の底上げがなされていた。</p> <p>柘原小では、新1年生が一人だが、一人で初めて小学校で勉強する児童は、不安や孤独を感じながらの授業ではないだろうか。他の上級生の児童や先生達のアドバイスや応援をお願いしたいと思った。</p> <p>4. 「学校訪問（垂水中央中）について」</p> <p>6月9日の垂水中央中の学校訪問は、学校内の清掃は行き届き、廊下や壁など絵画などのポスターや張り紙も綺麗に整理され、誰でもすぐ理解できる。すべてにおいて教育環境に優れていた。</p> <p>ふるさと教育では、もっと垂水を調べて知ってほしい。そして、垂水を記録し、考え、新しいものを発信してほしいと感じた。</p> <p>また、ふるさと検定を中学生にも導入して欲しい。</p>
教育長	<p>1. 「垂水小学校春季大運動会について」</p> <p>フライングのことについて、1週間か10日くらい前にあるだろうと連絡をした。音を聞いて素早く反応して走り出すということを確認してほしい。あれは、音だ、視覚ではない。聴覚から受け入れた情報でスタートすることを習慣付けられないといけない。だから飛び出してしまふ。残念ながら</p>

徹底しなかった。子供はできる。指導期間がどうだったのか、指導方法がどうだったのか。と言うことは、この時期の運動会は適切なのか。そこに行ってしまう。子供にとって、春季の運動会は本当にいいのだろうか。4年目に入ってだいぶ定着してきたというのは、大人の都合ではないかと思ったりしている。今一度、子供目線で、子供の立場に立って、時期等も含めて検討してほしい。

2. 「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて」

瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについては、野村委員の話に気になっているが、結論から言って、数ではない。30人でもグランプリは取れる。やはり、30人の力もきちっとした音楽であれば届くんだな、迫力もあるし、きめ細やかな部分もすべて補完されて、ああいうかたちで提供できるんだなと改めて思った。そうすれば、垂水小学校も垂水中央中学校もチャンスはあるというふうに感じた。来年度は第20回大会、記念大会であり、それにふさわしいような中身にしていきたい。

3. 「学校訪問について」

学校訪問について、どの学校も校長が持ち味を出して、学校を束ねて、いい方向に向かっていると思う。

ひとつだけ気になったのが、明石校長の、「だいぶいろいろあったんですけど、いい方向に向かっております、全体的に。でもすべてにおいて払拭できているわけではありません。」という言葉の意味に何があるのかと考えたときに、やはり、「個に目を向けなさい。」というメッセージだったのかなと思った。全体は良くは見えます。確かにそうだ。でも、個々に目を向けると、課題を持っている子供もいるという校長先生からのメッセージでなかったのか。そういうところにもきちっと今後手立てを打って、子供を育て、職員も育てていきますよということだったんだろうなと、私は推察するところだった。しかしながら、学校は頑張っている、いい学校に向かっているというのは、目にしっかり残っていましたので、今後は一生懸命対応し、応えていきたい。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

5月12日から6月12日までの主な行事等について報告。
併せて、7月10日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会